

「ファイナンスのOR」研究部会報告

01504700 東京工業大学 ※古川 浩一 FURUKAWA Koichi
01505910 慶應義塾大学 枇々木 規雄 HIBIKI Norio

§ 1. はじめに

「ファイナンスのOR」研究部会は、「投資と金融のOR」研究部会(1988年3月~1991年3月)、「金融と投資のOR」研究部会(1991年4月~1994年3月)を引き継ぎ、金融・投資理論へのORの応用を主テーマに、1994年4月に発足、1995年12月末現在で計16回の月例研究部会を開催することができました。部会参加者の所属先も非常に多岐にわたり、OR学会の方々はもちろんのこと、実務界からは銀行・証券・保険・シンクタンクなどの業種の方々が、大学関係者からはOR・統計学・確率論・経済学・財務理論などの各分野の諸先生方並びに学生諸君が部会に参加されました。今後も金融・投資分野の研究発表の場の提供による研究水準の向上並びに活性化、そして金融・投資の理論家と実務家との相互交流による研究の発展を目指すつもりであります。

§ 2. 部会の運営方針

主 査：古川 浩一 東京工業大学 工学部 経営システム工学科
幹 事：枇々木 規雄 慶應義塾大学 理工学部 管理工学科
定例研究会：原則として月1回、第3または第4土曜日 14:00 ~ 17:00
場 所：東京工業大学百周年記念館2F 第一会議室
テ マ：ORや金融投資理論の専門家による発表1件
銀行・証券会社をはじめとする実務家による発表1件

§ 3. 研究部会の状況

- 第1回：1994年 4月23日(土) 14:00~17:00 出席者：18名 場所：東京工業大学百周年記念館
(1)「手数料を考慮したアメリカン・オプションの評価」
今井 潤一、古川 浩一(東京工業大学・工学部)
(2)「確率優位基準によるオプション戦略の評価」 大野 三郎(山一証券・経済研究所)
- 第2回：1994年 6月11日(土) 14:00~17:00 出席者：24名 場所：東京工業大学百周年記念館
(1)「Measuring Cross-Security Predictability with Conditional Variances」
徳永 俊史(MTEC研究所)
(2)「手数料を考慮したポートフォリオの構築」
葛山 康典(早稲田大学)、久保 幹雄(東京商船大学)、大野 高裕(早稲田大学)
- 第3回：1994年 7月16日(土) 14:00~17:00 出席者：23名 場所：東京工業大学百周年記念館
(1)「ボラティリティの長期依存性とGARCHモデル」
白石 典義(立教大学・社会学部)、高山 俊則(国際投信委託)
(2)「株式市場におけるマーケット・メーカー分析」 清水 誠(上智大学)
- 第4回：1994年 9月17日(土) 14:00~17:00 出席者：15名 場所：東京工業大学百周年記念館
(1)「非完全競争市場における株価変動」 安達 智彦(武蔵大学)
(2)「10年国債のデータ解析と金利の期間構造」 浦谷 規、岡山 正之(法政大学)
- 第5回：1994年10月22日(土) 14:00~17:00 出席者：21名 場所：東京工業大学百周年記念館
(1)「金融資産価格の非線形変動」 的場 丈幸(日本パンカーストラスト信託銀行)
(2)「下方リスクモデルに関する理論と実証：系列相関を破壊したシミュレーションとモデルの拡張」 竹原 均(筑波大学・社会工学系)
- 第6回：1994年11月26日(土) 14:00~17:00 出席者：11名 場所：東京工業大学百周年記念館
(1)「日本の株式市場におけるマイクロストラクチャー -市場分析と取引コストの評価-」
川原 淳次(野村総合研究所・システムサイエンス部)
(2)「国債先物市場の評価と利子率の期間構造」
清水 康司(青山学院大学・大学院・国際政治経済学研究科)
- 第7回：1994年12月17日(土) 14:00~17:00 出席者：23名 場所：東京工業大学百周年記念館
(1)「デリバティブ取引と金融技術の現状」
太田 智之(野村総合研究所・システムサイエンス部)
(2)「 α -パーセントailsの性質とオプション価格 -順序統計量に基づくルックバック・オプションの性質-」 青沼 君明(三菱銀行・商品開発部)

- 第8回：1995年1月28日（土）14:00～17:00 出席者：26名 場所：東京工業大学百周年記念館
 (1)「ALMに関する最近の話題」 岡本 卓万（三菱信託銀行・資金企画運用部）
 (2)「モンテカルロ法による金利派生証券の評価」
 森平 爽一郎（慶應義塾大学・総合政策学部）
- 第9回：1995年3月4日（土）14:00～17:00 出席者：20名 場所：東京工業大学百周年記念館
 (1)「売買手数料を考慮した債券ポートフォリオモデル」
 渡辺 英俊（東京工業大学・情報科学専攻）
 (2)「フォワード・レートの変動を考慮した金利期間構造の推定」
 高瀬 徹（東京工業大学・経営工学専攻）
 (3)「最低取引単位を考慮したポートフォリオの構築」
 横山 明彦（早稲田大学・機械工学専攻・工業経営学分野）
- 第10回：1995年4月22日（土）14:00～17:00 出席者：14名 場所：東京工業大学百周年記念館
 (1)「株式平均リターン・クロスセクションの予測可能性の源泉について」
 バリュース/グラマー戦略の研究」
 石田 功、中島 純也（日興リサーチセンター・投資工学研究所）
 (2)「Common Risk Factors of Tokyo Stock Exchange Firms:
 In Finding the Mimicking Portfolios」
 竹原 均（筑波大学・社会工学系）、久保田 敬一（武蔵大学・経済学部）
- 第11回：1995年5月27日（土）14:00～17:00 出席者：22名 場所：東京工業大学百周年記念館
 (1)「A Comparison of the Models of the Short-term Interest Rates
 Using the Local Linearization Method」 庄司 功（住友生命保険）
 (2)「Longstaff - Schwarz 2 要因モデルの日本国債での検証」
 泉川 文夫、浦谷 規、松崎 宏（法政大学）
- 第12回：1995年7月15日（土）14:00～17:00 出席者：25名 場所：東京工業大学百周年記念館
 (1)「日本国債市場における金利リスクプレミアムの推定とその応用」
 小守林克哉、星野元伸、原田貴巳久、飯田貴史（第一生命保険）
 (2)「リース債権流動化商品の評価モデル」
 谷村英俊（安田信証券）、吉田敏弘（筑波大学大学院・経営システム科学）
- 第13回：1995年9月30日（土）14:00～17:00 出席者：32名 場所：東京工業大学百周年記念館
 (1)「日本社債市場のスプレッド分析」 鈴木 茂央（日興証券・投資工学研究所）
 (2)「下方リスクを考慮したポートフォリオ最適化モデル
 -平均・下方部分積率(MLPM)モデルを代替する平均・オープンL偏差(MOLD)モデル-」
 枇々木 規雄（慶應義塾大学・理工学部・管理工学科）
- 第14回：1995年10月28日（土）14:00～17:00 出席者：21名 場所：東京工業大学百周年記念館
 (1)「年金ALMの無限期間最適化問題 ～掛金率の感応度分析とMDPによる意思決定～」
 矢頭 智夫（安田信託銀行）、山下 智志（統計数理研究所）
 (2)「拡張 Samuelson モデルと長期オプション評価 -Warrant評価と転換社債価格-」
 高橋 正文（日興証券・投資工学研究所）
- 第15回：1995年11月25日（土）14:00～17:00 出席者：15名 場所：東京工業大学百周年記念館
 (1)「Global Asset Allocation by Analytic Hierachy Process」
 開澤 栄相、鈴木 政博（日興リサーチセンター）
 (2)「取引コストがアメリカン・オプションの評価に与える影響」
 今井 潤一（東京工業大学・経営工学専攻）
- 第16回：1995年12月16日（土）14:00～17:00 出席者：15名 場所：東京工業大学百周年記念館
 (1)「条件付請求権の複製問題に対する分割解法の適用」
 鈴木 賢一（東京工業大学・経営システム工学科）
 (2)「A New Approach for Testing the Randomness of Heteroskedastic Time Series
 Data」 岸本 一男（筑波大学・社会工学系）

§ 4. 今後の部会開催予定（継続申請中）

日 程：1996年 6月22日（土）、7月27日（土）、9月28日（土）、10月19日（土）、11月16日（土）
 時 間：いずれも、14:00 ～ 17:00
 場 所：東京工業大学百年記念館2F 第一会議室

※日程の詳細は幹事（枇々木）までお問い合わせください。

E-mail: hibiki@ae.keio.ac.jp, TEL: 045-563-1141 ext.3628, FAX: 045-563-5979